

代表質問 会派自民 灰田 昌典(はいだまさのり) 議員

一括質問

宮橋市長にとって2回目の本格的 予算であるが、その基本的な考えは



動画で
チェック

◆令和5年度予算編成について

Q その基本的な考えと特別枠の具体策を問う。

A ビジョンの目標を具現化する施策や誰もが安心して暮らし続けられる持続可能な社会の実現に向けた施策への配分を基本とし、特別枠は新幹線開業による交流人口拡大、産業創生による人口増加、子育て支援の充実の3項目。

Q 事務事業の見直しは。

A 引き続き点検・最適化を行うとともに職員の仕事方法改革の視点をアプスして行っている。

◆8月4日の豪雨災害の対策を図れ

Q 梯川水系緊急治水プロジェクトの方向性を問う。

A プロジェクトでは8月豪雨と同規模の洪水に対し氾濫防止、被害の軽減を図られる内容で、国・県・市で一体となって住民の安心確保に向けて取り組んでいく。

◆小松空港周辺開発に期待する

Q 安宅新地区産業団地の近隣の企業など企業誘致の見通しを問う。

A 現在、企業からの引き合いは15社あり、製造業以外の業種も含め希望を伺っている。

Q 北國銀行のアーリーナ構想について。

A 民設民営でのアーリーナ構想はぜひ進めてほしい。空港とその周辺も含め、新しい産業創出、都市機能集積、交流拠点化を目指す取組が必要。

Q 第2滑走路建設について国防上や民間空港の観点から市長の見解を問う。

A 現状滑走路での利用拡大や増設の必要性等を整理して議論すべきという方針の下、周辺住民への配慮が必要な重要案件であると考えている。

◆新産業団地造成を早急に

Q 早急な具体的候補地と花坂地区の現状を問う。

A 様々な業種をバランスよく誘致できるように作業を進めている。花坂地区は新幹線開業までに用地取得完了を目指している。

◆北陸新幹線開業に向けて

Q 開業まで1年半、市内外へ機運の高まりを問う。

A 市民がわくわくするような機運の醸成を最優先に図っていききたい。またそのマインドを市外県外へと広げ誘客効果を図っていききたい。

◆北電複合ビルの建設延期

Q 公立小松大学大学院、サテライトオフィスの方向性は。

A 延期に伴い計画やスケジュール変更、代替施設の活用を予定。

Q 市内の宿泊施設、コンベンション施設不足への対策は。

A 次の産業団地の計画を進め、多彩な企業誘致による産業基盤の強化等により都市機能の強化につなげていきたい。



◆里山振興大杉谷地区の再生

Q 旧波佐谷小学校について地元からの要望など跡地活用の市の考え方は。

A 地元から地域活性化を担う施設として要望されており、民間企業から広く地域活性化に資する事業提案を募集したいと考えている。

◆学校給食費の無償化について

Q 財源は市独自だけでなく国・県からも。

A 国や県でも学校給食無償化が検討されているが、市独自でも重要な子育て支援策として、小学校への拡大をしっかりと検討する。

◆小松市町内会の行政事務連絡費について

Q 制度を見直すべきだと思いが。

A 町内会長の負担軽減のため、地域課題の解決に向けてともに取組を進め、制度の見直しは今後の検討課題としたい。

◆松陽中、稚松小の改築を早急に

Q 現在の状況は。

A 松陽中は既存校舎を活かしつつ防音校舎棟の新築を、稚松小は施設整備を検討するために総合調査を実施予定。

代表質問 自民党こまつ 川崎 順次(かわさきじゅんじ) 議員

一括質問

小松空港周辺に企業誘致・アリーナ建設が最優先



動画でチェック

◆令和5年度予算編成について

Q 財政の見通しは。新型コロナウイルス感染症や不透明な世界情勢、原油価格及び物価高騰など需要増加も懸念されるが。

A 歳入はコロナ前の水準に戻り増加見込めるが、開業まで1年を切った北陸新幹線小松駅開業関連に大幅な予算を配分したい。

Q 北陸新幹線小松駅開業について、本市にとって歴史的にも重要な年になるが、具体的にどのような立案を考えているのか。

A 市長がトップのプロジェクトチームを発足させ、首都圏等でのPR活動、また3月にはカウンタダウンイベントも実施していく。

Q 市長の新しい小松をつくる55の実現、具体策は。55の政策と(仮称)2040年ビジョンの具体的内容は。

A 学校給食無償化の対象拡大、未来型図書館の候補地決定と具体的な計画づくりなどを行う。ビジョンは、「小松を明るく、にぎやかに」をテーマに、空港や新幹線駅といった都市機能や産業力などの本市の強みを発揮すること、持続可能な成長とまちのにぎやかさを生み出す好循環のまちづくりを進める。

Q 小松駅前北電ビルについて、公立小松大学大学院、サテライトオフィス等入る予定が、今年になって完成を1年余り延ばしてほしいとなった。本市としては新幹線開業を見据えて判断していく必要があるのではないか。

A 駅東の最重要な土地であることから、いつまでも遊休地とすることはできないと考えている。1年以内をめどに協議を進めていきたい。

◆小松、台湾友好について

Q 彰化市との友好の現状は。

A それぞれの市長就任時に祝意のメッセージを送り、友好を確認している。

Q 来春に、エアー航空のデイリー運航が復活する。同航空が運営するローレルホテルをぜひ誘致できないか。

A 空港周辺の状況や課題を整理しながら協議を進めたい。

Q ローレルホテル誘致により小松空港周辺安宅新産業団地に企業誘致も大事。

A 都市機能の強化、拡充につなげていけるよう、産業団地の整備や企業誘致に積極的に取り組んでいきたい。

Q 北國銀行によるアリーナの建設の誘致は民間・知事・市長と一緒に協議し、すばらしいものにしてほしい。

A 課題を整理しながら、しっかりと後押しし、協議を進めていきたい。

Q 第2滑走路について防衛局長は必要性を感じないと表明。

A まずは、現滑走路の利用拡大や増設の必要性について整理が必要という立場。



◆高規格道路、小松白川連絡道路について

Q 今後の経済産業の発展、緊急代替路線として必要。

A 南加賀地域と飛騨地域を結ぶ重要な広域幹線道路と捉えている。

◆eスポーツの取組について

Q 今後の市の対応は。

A まずは出張体験会で関心や理解を広げていきたい。

◆市民病院の看護師対策は

Q 公立小松大学との連携は。

A 実習生の受入れ、大学講義への医師等派遣、職員募集交流会などで連携している。

Q 勤務体制の見直しは。

A 多職種からなる働き方改革委員会を年6回開催し、院内全体で改善に取り組んでいる。

Q 給与体系の見直しは。

A 地方公務員法や人事院勧告の基準を超えない範囲ではあるが、特殊勤務手当の新設や支給対象の拡大を行っている。

北陸新幹線大阪延伸を確実に



動画で
チェック

◆北陸新幹線大阪延伸の確実な着工を！

Q 11月25日に大阪で行われた北陸新幹線整備促進シンポジウムには京都府知事が欠席された。京都府内の環境アセスメントが遅れがちと聞いており、12月3日の新聞報道によれば、「大阪延伸着工ずれ込みへ」となっていた。大阪までの開通は、北陸三県の発展がかかっている。大阪延伸に向けた心意気を伺う。

A 北陸新幹線は、大阪まで全線開通することにより、整備効果が最大限に発揮されるものである。敦賀以西は、2024年春の敦賀開業頃に着工できるか不透明な状況と聞いている。沿線地域の意見を踏まえた迅速かつ丁寧な地元調整を行い、用地や設計の準備などができることから前に進めるなど、あらゆる手段を尽くして大阪までの全線整備を図ることが大切と考えている。

沿線住民の長年の悲願である大阪までの全線開業が一日も早く実現されるようあらゆる機会を捉え、北陸3県をはじめとする関係自治体と連携を密にして強く働きかけていきたい。

◆梯川治水計画について

Q 8月の梯川氾濫による治水計画の前倒しだと思いが、木場潟を中心とした「田んぼ」を忘れないでほしい。今回の水害被害は過去と

は違い多くの影響を及ぼした。対策が偏らないようにお願いしたい。

A 国、県において、木場潟の事前排水の実施・体制構築を計画している。また、梯川逆水門において、国の水門ゲート高不足対応により前川排水機場のポンプ停止が解消される見込みと聞いている。県では、今江町において前川河川改修を計画的・継続的に実施している。市としては、引き続き前川の流下能力向上のため、前川河川改修の整備促進を県に要望していきたい。

◆こまつ観光物産ネットワークについて

Q 基本的に物を売る仕事であり、独立採算制にすべきと考える。

A 収益性のある事業の物産販売について、小松の地場産品・物産の振興、PRという公益的な性格も有している。現在、今後の事業経営に関するプロジェクトチームを立ち上げて魅力的なショップの設置、経営改善に向けた事業計画の検討を重ねていると聞いている。今後とも、自主財源確保、自立的な運営に向けて、市



として支援していきたい。

◆マイナンバーカードの普及について

Q 普及状況と8月の水害時における支払い等に利用されたのかを聞く。

A 小松市の交付率は53・4%で、若干全国平均を上回っており、国内の公金受け取り口座の登録者数は21・5%。現状の低い登録率、準備や説明の複雑化等を鑑みて、今回の災害時には活用までには至らなかった。今後とも国の動向を見極めつつ、有効活用できるよう対応を進めていきたい。

◆小松空港周辺、特に浮柳方面の松くい虫被害の対処を！

Q 土地所有者とも協議し、小松空港の玄関口、また景観保全の立場からも、伐採処理をしてもらいたい。

A 松くい虫被害を受けた松の早期伐採や枯れに強い抵抗性クロマツなどの植樹を、管理者である近畿中部防衛局に要望するとともに、市としても連携して取り組んでいきたい。



竹田 良平(ただりょうへい)議員

一括質問

動画でチェック

木場潟の魅力向上、婚活支援の取組、
こども園等での医療的ケア児受入れ



◆木場潟の魅力向上

◆今後の整備についてどう進めていくか。また、公園の魅力

をさらに高めるためイベントでの活用や民間企業の参入・連携についてどう進めていくか。

◆足湯やカフェが楽しめる里山交流ハウスなど3施設を整備し、令和5年春の供用開始予定。今後は施設を活用し子供から大人まで楽しめる

体験学習プログラム等を開催し、指定管理など民間のノウハウも取り入れる。



木場潟公園から望む白山

◆少子化・婚活支援の取組

◆少子化の一因として、婚姻数の減少がある。結婚を望む方々へ市の婚活支援への取組および

婚活支援を行う団体との連携については。

◆市では出会いの場で求められる内容をテーマとした婚活関連セミナーを主催。また、こまつNPOセンターと連携しており、セミナー主催イベントでは約340組のカップルが成立。

◆受入れに際しては、こどもに合わせた備品の新調など配慮が必要となる。先日行われた私立こども園等の施設長との意見交換会でも要望の声が出ていたが、市の対応については。

◆こども園などでの医療的ケア児受入れ

◆医療的ケア児支援のための検討部会を設置し、保護者からの要望の把握などを行っている。また、国の医療的ケア児保育支援事業として看護師の配置等に1施設当たり529万円の予算を計上している。

◆小児がんの治療により、これまで接種した予防接種の効果が消失した場合の再接種に対して全額補助をしようか。

◆本市では、令和4年4月から、再接種1回当たり3千円助成を開始。現時点の申請等はないが、種類により助成額の拡大を検討し、負担の軽減を図っていく。

◆障がいや長期療養を必要とするお子さんを持つご家庭の支援について。

◆通所サービス等の利用支援、医療的ケア児受入れのためのこども園と小学校への看護師配置など、保護者の就業支援を行っている。

◆小松サン・アビリティーズの大規模改修について

◆体調管理が難しい障がい者にとって夏季・冬季の利用は厳しい場合がある。今回の大規模改修の内容とスケジュールは。

◆空調設備、内装建具、照明設備、屋上、屋根等改修を見込んでおり、来年度、設計予定。改修



岡山 晃宏(おかやまあきひろ)議員

一括質問

動画でチェック

長期療養や障がいをお持ちの方への支援について



◆長期療養や障がいをお持ちの方への支援について

◆小児がんの治療により、これまで接種した予防接種の効果が消失した場合の再接種に対して全額補助をしようか。

◆本市では、令和4年4月から、再接種1回当たり3千円助成を開始。現時点の申請等はないが、種類により助成額の拡大を検討し、負担の軽減を図っていく。

◆障がいや長期療養を必要とするお子さんを持つご家庭の支援について。

◆通所サービス等の利用支援、医療的ケア児受入れのためのこども園と小学校への看護師配置など、保護者の就業支援を行っている。

◆小松サン・アビリティーズの大規模改修について

◆体調管理が難しい障がい者にとって夏季・冬季の利用は厳しい場合がある。今回の大規模改修の内容とスケジュールは。

◆空調設備、内装建具、照明設備、屋上、屋根等改修を見込んでおり、来年度、設計予定。改修

規模や利用ニーズ等を踏まえ、具体的な改修スケジュールを定めていく。

◆休耕田・耕作放棄地の活用について

◆農家の減少によって休耕田、耕作放棄地が問題になっている。新たな担い手がこの土地を活用し農業を始めるときの補助制度は。

◆休耕田の管理は、農地の維持管理費の補助対象で、国・県・市が協調し支援。

◆圃場の大区画化等の圃場整備事業が進められており、現在、林・下栗津地区で事業を計画中で、休耕田や耕作放棄地の解消につながっている。

◆オーナー制度や就農支援、地権者と利用者とのマッチングなどにより、交流人口や就農者の拡大につながる取組は。

◆本市では、休耕田解消のため農地を探す農業者とのマッチングを行っている。

◆さらに今年度は、3年間休耕田であった白山田町の圃場に試験的に1haの作付を行っており、来年度は6haに拡大を予定している。